

平成18年7月13日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

田園都市線車両の車体接触痕に関する調査結果について

2006年6月28日に、弊社田園都市線所属車両12編成の車体の一部に接触した痕が発見された件について、調査の結果、当社の線路状態が原因となって車両とホームが接触した可能性が高いことが分かりました。お客さまならびに関係者の皆さまにご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。深くお詫び申し上げます。

1. 接触が発生した場所

田園都市線梶が谷駅2番線ホーム（下り線）

所在：神奈川県川崎市高津区末長85番

車体接触痕発見以降、車両や施設についての調査を実施いたしました。29日の発表後の調査過程で、念のため6月27日以前の保線作業記録などについても調査したところ、梶が谷駅2番線ホームの笠石の一部に、車両と接触してできたものと思われる傷が6月27日に発見されていたことが判明しました。

梶が谷駅以外の駅ホームでは傷は見つかっておらず、その他の駅施設や構造物にも異常はありませんでした。また東京メトロ線内の駅施設や構造物にも異常はありませんでした。

なお6月29日の時点では、「車体の接触痕はすべて28日中に付いたものと思われる」とご説明していましたが、以上の状況、および車体の接触痕の位置や形状などの調査結果から、今回の車体接触痕は、6月28日以前に梶が谷駅2番線ホームで付いたものと考えられます。

2. 接触が発生した原因

当該ホーム部分の線路状態を調査した結果、線路の傾きが不足していたことが判明しました。このことが主な原因と考えられますが、今後、他の原因についても財団法人鉄道総合技術研究所を交えてさらに検討し、早期究明に努めてまいります。

3. 対策

当該ホーム部分の線路の傾きは既に修正しておりますが、原因を特定できるまでの間、当該ホームを走行する際は、制限速度から約30パーセント減速した運転を継続します。

4 . その他

6月29日以降、一部の駅で減速運転を実施していましたが、梶が谷駅2番線ホーム以外の駅ホームについては、接触した形跡が全くないことに加え、線路の傾きに問題がないことなどから安全であることが確認されたため、7月18日初電から通常の制限速度で運転いたします。

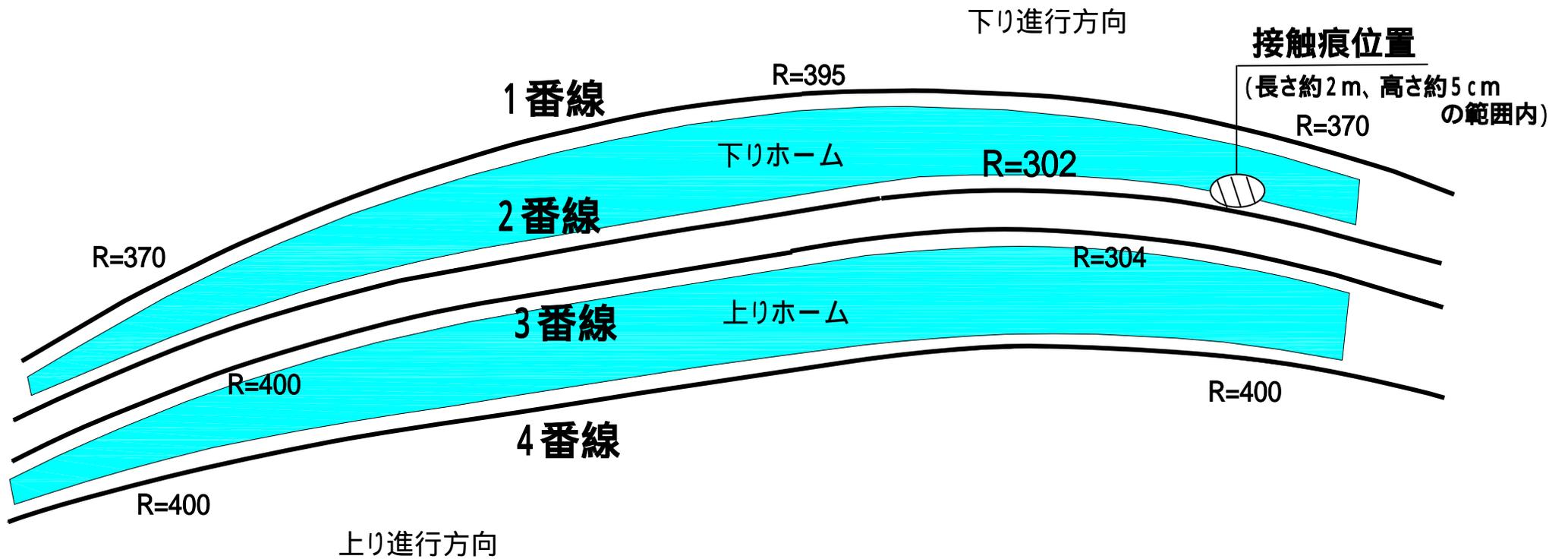
なお6月22日に田園都市線用賀駅で発生した、車両1編成（東京メトロ所属車両）とホームとの接触については、今回の12編成とは反対側が接触したもので、今回とは別の案件です。用賀駅の接触の件については現在も調査中のため、原因が判明するまでは、用賀駅上りホームにおける減速運転を継続いたします。

以 上

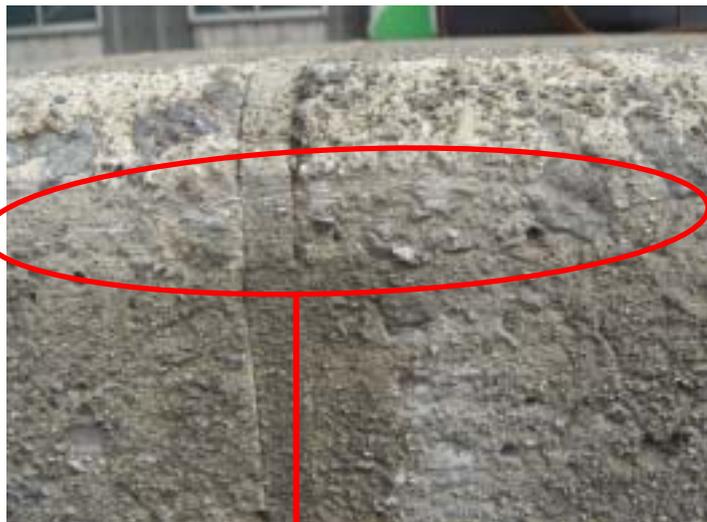
(添付資料1) 田園都市線梶が谷駅平面図

至渋谷

至中央林間



(添付資料2) 梶が谷駅2番線ホームの接触痕



接触した痕



接触した痕



該当箇所

報道関係各位

平成18年6月29日

東京急行電鉄株式会社

田園都市線車両の車体接触痕について

1. 状 況

昨日(28日)、弊社田園都市線所属車両45編成のうち12編成において、車体の片側の一部(それぞれ1カ所または2カ所)に何かと接触した痕があるのが発見されました。

2. 原 因

直ちに田園都市線全線の線路および構造物、ならびに接触痕が発見された側にホームがある駅について、係員の目視による緊急点検を実施しましたが、異常は見つかりませんでした。また車両についても緊急点検を実施しましたが、異常は見つかりませんでした。

さらに昨日の営業運転終了後に、測定器具を使用し、線路および構造物の異常の有無、およびホーム等構造物と車両の間隔について、詳細な調査を行いました。異常は見つかりませんでした。

現在のところ、原因は特定できていません。

接触痕が発見されたのは、今月22日に発生した用賀駅でのホーム接触とは反対の側です。

3. 対 応

原因が特定できるまでの間、緊急対策として、曲線区間に設置されている駅のうち、接触痕が発見された側にホームがある駅は、制限速度から約30パーセント減速して運転しております。また当該駅のホームに監視員を配置しております。

以 上

(参考資料2) 車両の接触痕



11.5cm



該当箇所



該当箇所